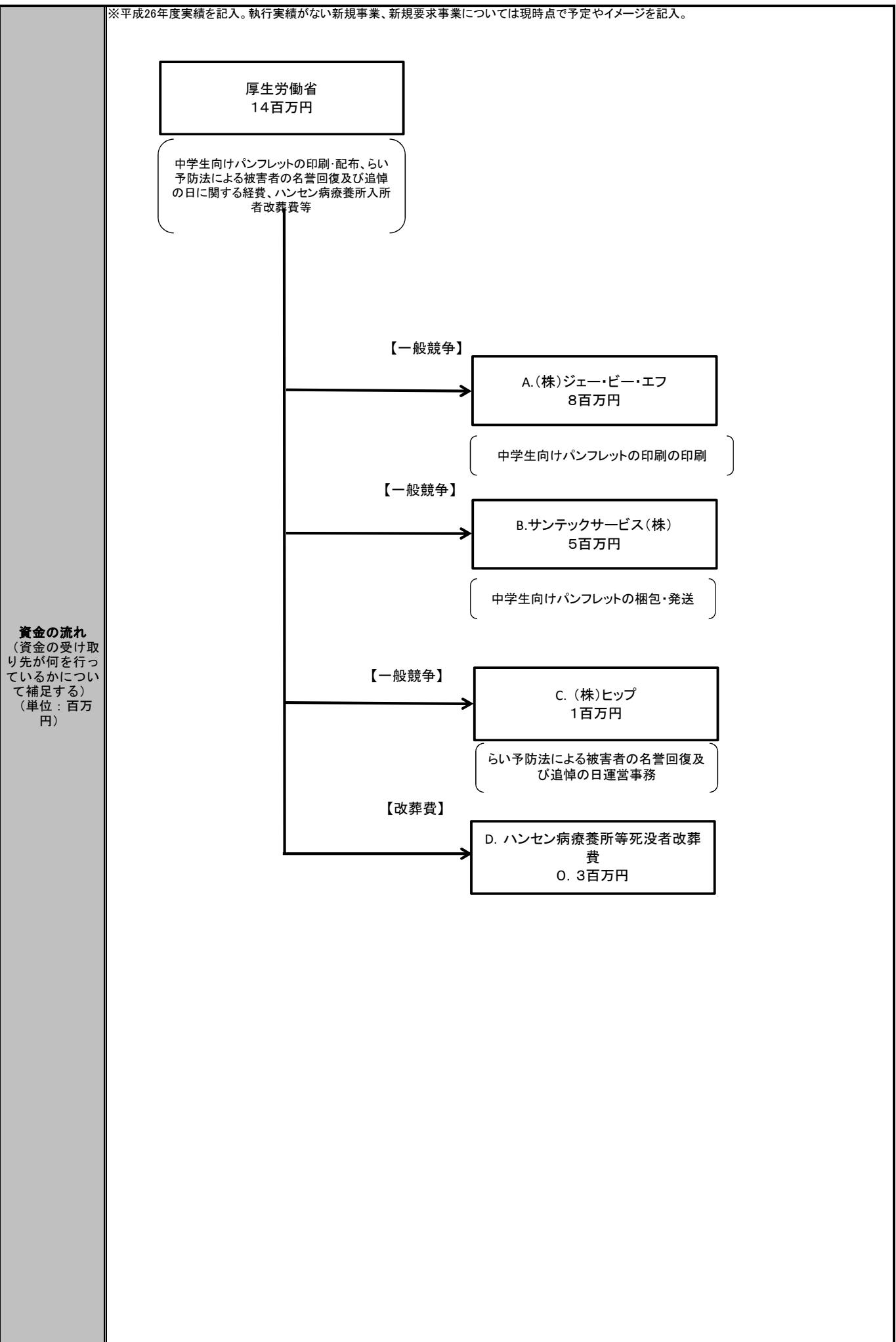


## 平成27年度行政事業レビューシート( 厚生労働省 )

事業名	名誉回復事業			担当部局	健康局		作成責任者
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	疾病対策課		課長:田原 克志
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条			関係する計画、通知等	-		
主要政策・施策				主要経費	社会保障		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条」に基づき、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する正しい知識の普及啓発及び名誉回復に必要な措置を行う。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①名誉回復事業 中学生を対象としたパンフレットに加え、指導者向けのパンフレットを作成し、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発を実施する。 また、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」の式典を開催する。 ②改葬費 各療養所の納骨堂に眠る遺骨について、親族等の墓に改葬するための費用の支給を行う。 ③ハンセン病の患者であった者等の名誉の回復を図り、正しい知識の普及啓発等を行うため、ハンセン病療養所における歴史的建造物の補修等を行う。 (歴史的建造物等保存等については、平成27年度より本経費において実施)						
実施方法	直接実施						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
予算の状況	当初予算	31	30	30	112	107	
	補正予算	-	-	-	-		
	前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
	翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
	予備費等	-	-	-	-		
	計	31	30	30	112	107	
	執行額	3	13	23			
執行率(%)	10%	43%	77%				
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 毎 年度
前年度の中学校向けパンフレットを活用した学校数×1.1	中学生パンフレットを活用した学校数	成果実績	校	0	7,378	集計中	
		目標値	校	8,216	8,216	8,116	前年度の実績×1.1
		達成度	%	0%	90%		
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
中学生向けパンフレットの印刷及び発送部数		活動実績	部	0	1,531,000	1,380,000	
		当初見込み	部	1,450,000	1,450,000	1,360,000	1,360,000
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
パンフレット印刷及び発送の額(X)／ パンフレットの配布部数(Y)		単位当たり コスト	円	0	7.8	9.5	17.9
		計算式	X/Y	-	11,862,270円／ 1,531,000部	13,108,662円／ 1,380,000部	24,375,000円／ 1,360,000部
平成 2 7 位 2 8 年 度 予 算 内 訳 ( 単 )	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由			
27年度限りの事業が終了したため、減額となっている。	ハンセン病名誉回復事業等 庁費	112	107				
		計	112	107			

事業所管部局による点検・改善													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費 要投入 の必 要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国費を投入すべき事業である。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、国が実施すべき事業である。										
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律に基づくものであり、優先度の高い事業となっている。										
事業 の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	業者選定に当たっては、一般競争入札によるものである。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-											
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	一般競争入札によって業者を選定しており、妥当である。										
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-											
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	名誉の回復等、事業目的に即したものである。										
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	当初の見込みより入札額が少額だったため。										
事業 の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-											
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	25年度の成果実績は成果目標を概ね達成しており、見合ったものとなっている。										
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低成本で実施できているか。	-											
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	25,26年度の成果実績は成果目標をやや上回っており、見合ったものとなっている。										
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-											
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-											
	所管府省・部局名	事業番号	事業名										
点検 ・改善 結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハンセン病問題の解決の促進に関する法律によれば、国の隔離政策に起因してハンセン病の患者であった者等が受けた身体及び財産に係る被害その他社会生活全般にわたる被害の回復には、未解決の問題が多く残されているとされており、ハンセン病の患者であった者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、真摯に取り組むこととされている。</li> <li>本事業は、ハンセン病問題の解決の促進に関する法律第18条の規程に基づく、ハンセン病及びハンセン病対策の歴史に関する知識の普及啓発及びハンセン病の患者であった方々の名誉回復を図るための事業であり、適切に実施されている。</li> <li>特にパンフレットの配布は、全中学一年生を対象に行なった。引き続きハンセン病の正しい知識の普及啓発を行っていく。</li> </ul>											
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生向けパンフレットの印刷・配布や、らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日の式典に関しては、平成26年度は、一般競争を行い、執行した。今後とも、効率的な執行に努める。</li> </ul>											
外部有識者の所見													
新規項目による増加額を含み引き続き適正な執行に努めること。(長崎)													
行政事業レビュー推進チームの所見													
事業 内 容 の 改 善 一 部	点検結果については、概ね妥当であるが、過去の執行率が低いことから、執行実績や今後の見込みを踏まえた見直しを行うこと。												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
現 状 通 り	27年度限りの事業が終了したため、減額要求となっている。引き続き、必要な予算額を確保しつつ、適正な執行に努める。												
備考													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
平成22年度	270	平成23年度	128	平成24年度									
平成25年度	119	平成26年度	130										

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。





**支出先上位10者リスト**

A

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジー・ビー・エフ	中学生向けパンフレットの印刷	87		80.5%

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サンテックサービス(株)	中学生向けパンフレットの梱包・発送	5		

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ヒップ	らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日式典運営	14		86.2%

D

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ハンセン病療養所等死没者遺族	ハンセン病療養所等死没者改葬費	0.3	-	-